

早池峰山植生保護柵設置作業を行いました

近年、全国各地で、ニホンジカの採食、踏圧等による生態系への被害、生物多様性への影響が顕在化しており、早池峰山周辺でもニホンジカによる高山植物への食害が確認されています。

岩手南部森林管理署遠野支署は、早池峰地域保全対策事業推進協議会の一員として、岩手県、東北森林管理局、関係機関の皆様と連携し、平成30年度から継続して、早池峰国定公園内に植生保護柵を設置しています。今年度は、遠野支署職員9名で、令和6年5月23日に設置作業を行いました。

岩手南部森林管理署遠野支署が管理している植生保護柵は、平成28年5月に発生した崩落の影響で閉鎖されている河原の坊登山道沿いに設置しています。

平成30年以降、春に柵を設置し、秋に柵を撤去するという作業を繰り返してきました。

私は、令和4年秋の撤去作業から、毎回作業に参加しており、今回は、柵までのルート在先導や、設置作業のとりまとめも担当しました。

当日は、登山道が閉鎖されているためルートが分かりづらい箇所があり、迷いそうになる箇所もありましたが、無事現地へ到着することができました。

柵の設置作業も、参加職員の協力のもと、スムーズに終わることができました。

特に、雪解けに合わせて例年よりも早め(令和5年5月12日)に作業した昨年に比べ、柵内部の植生の様子が異なっていたことが印象に残りました。

昨年は、高山植物が芽吹く前の枯草ばかりの茶色だけの風景だったのですが、今年度は、チングルマ等の高山植物がすでに開花しており、緑豊かな、貴重な自然と景観を体感することができました。

「この貴重な植物へ、食害が発生する前に作業を行うことができよかったな」、と思うとともに、今後も継続して取り組むよう、思いを新たにしました。



【昨年の様子：茶色い風景でした】



【今年の様子：高山植物がキレイでした】